口腔科学演習（高橋俊介）

Seminar of Oral Science （Shun-suke Takahashi）

キーワード

① 口腔科学
② 社会系・形態系・機能系・病態系分野
③ グループワーク
④ ロードマップ
⑤ リンクマップ
⑥ テーマ発表
⑦ 研究発表
⑧ ディベート

授業概要

疾病要因を形態、機能、病態、社会的側面から学際的に究明する科学と技術を学修し、俯瞰的に生命現象をとらえる能力を身につけることを目的に開講する。

本演習は、４つの項目で構成されている。

演習①概論：各専門分野の最新研究について受講する。

演習②テーマ発表：現代歯科医療の問題点についてグループセッションの中で考察し、提起したのテーマに沿ってプレゼンを行い、担当教員による評価を受ける。

演習③研究発表：これまでの研究成果をまとめ、各自の研究成果についてプレゼンを行い、4～6名の多科大学院教員による評価を受ける。最終的に中間発表のポスターを概成させる。

演習④ディベート：与えられたテーマについて異なる立場（肯定、否定）に別れ、グループワークにて進行用プロダクト作成と討論の作戦会議を行い、実際のディベートはテーマ担当者の評価を受ける。その際、試合の勝敗については、ジャッジ役の学生が決定する。

以上により口腔科学における俯瞰的な判断を行う素養を身ににつけ、各大学院生の研究活動における多角的、総合的な検証を行うことを目的として開講する。

授業科目の学修目標

口腔科学における各分野の特徴を生かした演習を行うことにより、疾病要因を形態、機能、病態、社会的側面から学際的に究明する科学と技術を修得し、俯瞰的に生命現象をとらえる能力ならびに口腔科学における俯瞰的な判断を行う素養を身につける。

授業計画

① 導入　1コマ　槻木恵一
② 口腔外科学分野最新研究　1コマ　金森慶亮
③ クラウンブリッジ補綴学最新研究　1コマ　斉田牧子
④ 社会歯科学最新研究　1コマ　持田悠貴
⑤ ＰＢＬについて　1コマ　高橋俊介
⑥⑦　グループセッション　2コマ　室町幸一郎　大谷茉衣子　長島信太朗　畠中玲奈
⑧⑨⑩　グループワーク①～③　3コマ　高橋俊介
⑪⑫ テーマ発表　2コマ　星　憲幸　小牧基浩　武藤徳子　小泉　創
⑬⑭⑮ 個人研究　3コマ　高橋俊介
⑯⑰ 研究発表　2コマ　吉野文彦　東　雅啓　黒田英孝　佐藤武則　稲葉啓太郎　田中香衣
⑱⑲ 研究発表　2コマ　渡辺清子　高野知子　浅里　仁　吉田彩佳　富山　潔　小松知子
⑳㉑ 研究発表　2コマ　猿田樹理　今泉うの　宋　文群　清水智子
㉒ ディベートについて　高橋俊介
㉓㉔㉕㉖㉗ グループワーク①～⑤　5コマ　高橋俊介
㉘㉙ ディベート試合　2コマ
　第１試合：山本龍生　渕田慎也　持田悠貴
　第２試合：木本克彦　熊坂知就　川西範繁
　第３試合：青山典生　平田貴久　杉原俊太郎
㉚ 総括　１コマ　槻木恵一

教科書および参考書

プロダクトを含めた配布プリント、指定、関連学術論文

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

これまでの研究活動により得られた口腔科学に関する知識、ならびに疾病要因の形態的、機能的、病態的、社会的側面に関する知識が必要である。

大学院生が達成すべき行動目標

① 学際的口腔科学の概要を説明できる。
② 社会系・形態系・機能系・病態系分野についての基本概念を説明できる。
③ グループワークによりプロダクトを作成しプレゼンテーションできる。
④ 口腔科学に関する概論講義についてテーマ発表としてプレゼンテーションできる。
⑤ これまでの研究成果をプロダクトとしてまとめ研究発表としてプレゼンテーションできる。
⑥ 自分の意志に関係なく与えられたテーマでディベートできる。
⑦ 上記を総合演習として実践できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	25%	30%	0%	40%	5%

評価の要点

・各演習①～④の項目ごとに評価者（大学院教員）による質疑応答(口頭試問：40%）とグループワークのアクティビティ等（その他：5%)を含め総合的に評価する。
・成果発表は、本演習で身についたことについての発表の内容を総合的に評価する。
　研究発表・ディスカッション・ディベート：30%

理想的な達成レベルの目安

口腔科学演習の理想的な達成レベルは、総計として80%以上とする。